

ネオス、京都大学と京都市による DX プロジェクトに参画 保健所 DX のプラットフォームとして【KarteConnect】が採用 ～柔軟かつスピーディーな開発、プラットフォームとしての有効性を実証～

JNS ホールディングスの子会社であるネオス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:池田 昌史、以下 ネオス)は、京都大学医学部附属病院(以下「京大病院」)および京都市が共同推進する DX プロジェクト(以下 本プロジェクト)に昨年より参画しています。本プロジェクトにおいて、ネオスが開発した医療・介護業界向け DX プラットフォーム【KarteConnect】が採用されました。

■プラットフォームの活用により短期間で保健所業務の効率化を実現

京都市では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、京大病院と共同で様々な対策や療養者支援の取り組みを展開しています。その一環として、DXにより保健所業務の効率化や地域住民の支援を目的とする本プロジェクトにおいて、企業や自治体の DX 支援実績を持つネオスが開発領域を担い、産官学連携による取り組みを昨年来進めてまいりました。

開発においては、日々変動する感染拡大状況やガイドラインへの対応が必要とされるなか、【KarteConnect】をベースとした UX デザイン中心の開発プロセスを用いて、サービス要件やリリース計画の変更に対して柔軟に対応いたしました。昨年 12 月には「京都市新型コロナお問い合わせボット」を京都市公式 HP 上に公開し、相談窓口業務の効率化を実現しております。

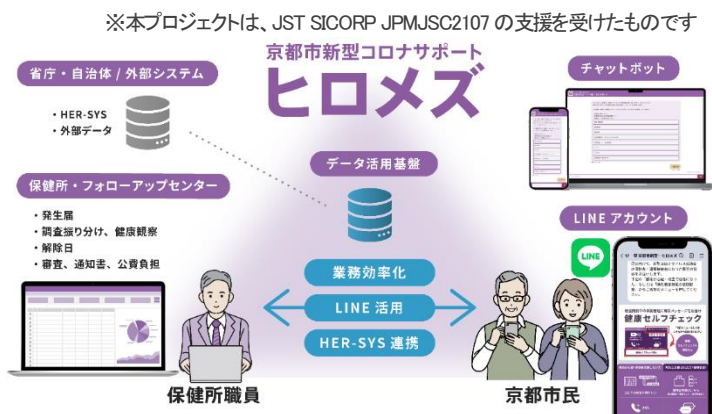
これに続き、管理システムの改修や LINE との連携機能などの追加開発を行い、先般、LINE アカウント「京都市新型コロナサポート ヒロメズ」の提供開始に至りました。従来のチャットボットによる問い合わせ対応に加えて、療養者の体調管理におけるセルフチェック機能や、各種支援への迅速なアクセスが可能になるなど、地域住民と行政を繋ぐ窓口として広く活用されており、この度の保健所 DX の様なケースにおいて有効なプラットフォームであることを実証いたしました。

今後もさらなる推進や地域におけるサポート展開へ期待の声を頂いており、引き続き本プロジェクト並びに自治体や医療・福祉分野における DX 支援に取り組んでまいります。

＜「京都市新型コロナサポート ヒロメズ」について＞

LINEアカウントを友だち登録し、発症日を入力すると療養期間終了日や、相談先・参考情報等の通知を受け取ることが出来ます。また保健所向けの管理システムにおいては、登録された情報から日々の感染者の発生状況を把握し、管理業務や療養者支援に役立てることが可能です。

従来の「京都市新型コロナお問い合わせボット」に加えてヒロメズにもチャットボット機能を導入しており、使い慣れたチャットから時間や場所を問わず相談窓口へアクセスできることによる利便性の向上とサポート強化を実現しています。



(参考:京都市 HP「京都市新型コロナサポート ヒロメズ」の開設等について
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000309038.html>)

■京大病院主催によるシンポジウムに登壇 (アーカイブ動画のご案内)

本プロジェクトの取り組みを例として、医療・福祉分野での現場業務を改善する新たな UX の社会実装について総括するシンポジウムが 3/28 に開催されました。ネオスからも登壇し、さまざまな障壁をどのように解決して短期間で保健所 DX を実現したのか、具体的な進め方や開発手法、押さえるべきポイント等をご紹介いたしました。6/30 まで動画が公開されておりますのでぜひご覧ください。

▼詳細・動画視聴はこちら (京都大学大学院医学研究科 HP)

<https://clm.med.kyoto-u.ac.jp/wordpress/?p=1101>

《【KarteConnect】について》

【KarteConnect】は、医療・介護業界における業務効率化や患者との新しいコミュニケーションを創出する総合 DX プラットフォームです。事業者が持つ電子カルテなどのデータ活用基盤を備えており、事務作業などの業務フローや情報管理を効率化するとともに、患者やその家族へ寄り添った最適なサービスやコミュニケーションの実現をサポートいたします。



今後は病院やクリニック・介護事業所をはじめ、自治体・保健所、接骨院・整骨院、調剤薬局など、医療・介護に関連した事業者へ幅広く展開を予定しており、電子カルテやレセコン※事業者の既存データやシステムと【KarteConnect】をつなげるとともに、医療・介護等の業務シーンにおける様々なニーズに応えることで、エッセンシャルワーカーや利用者に寄り添い支えるコミュニケーションを創造いたします。さらにデータ活用基盤を軸に、法人向けの BI ソリューションやプライバシーテック等、様々なソリューションやベンダーともつながっていくことも視野に展開を進めてまいります。

参考リリース「医療・介護業界向け DX プラットフォーム【KarteConnect】を提供開始」

<https://news.neoscorp.jp/news-karteconnect-release/>

また、AI チャットボットサービス【OfficeBot】とも連携しており、サービスや業務プラットフォームへのチャット UI や BOT の導入を容易に実現することが可能です。これにより、この度のプロジェクトのような保健所や自治体における業務改善ソリューションとしての展開をはじめ、医療・介護業界における DX を支援してまいります。

【OfficeBot】サービスサイトはこちら: <https://officebot.jp/>

※ レセコン:レセプト(診療報酬明細書)を作成するためのコンピュータのこと

<JNS ホールディングスについて>

【商号】JNS ホールディングス株式会社

【本社】東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館

【上場市場】東京証券取引所 プライム市場（証券コード:3627）

【代表者】池田 昌史

【URL】<https://www.jns.inc>

【グループ事業内容】

◆ライフデザイン事業

知育・教育、健康、マネー、エンターテインメント等におけるデジタルテクノロジーを活用したライフデザインサービスの提供

◆ビジネスイノベーション事業

ソフトウェア開発、システムインテグレーション、AI、クラウド技術等を活用したビジネスイノベーションを実現するソリューション&サービスの提供

◆コネクテッドソリューション事業

深川のサプライチェーンを活用したコネクテッドデバイスの企画/開発/製造とデバイス・クラウド・ネットワーク一体型ソリューションの提供

<ネオスについて>

【商号】ネオス株式会社

【本社】東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館

【URL】<https://www.neoscorp.jp>

【代表者】池田 昌史

【事業内容】情報通信サービスおよびソフトウェア、コンテンツ開発

<このニュースリリース・素材の提供に関するお問合せ先>

JNS ホールディングス株式会社

担当：経営企画部 広報チーム

Email:info@jns.inc

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館

<https://www.jns.inc/>

※記載されている社名、製品名、ブランド名、サービス名は、すべて各社の商標または登録商標です。